

桜原・旧街道の宿場町の面影、 緑豊かな原風景を伝えていきたい

西京区の桂川右岸に位置し、古い街並みが残る「桜原」。山陰街道と物集女街道が交差する交通の要衝であり、江戸時代には参勤交代の宿場町として大いに栄えていました。町の中心に位置する「桜原本陣」は京都市内に唯一残る本陣であり、平成4年に京都市有形文化財として指定され、その歴史を今日まで伝えています。

また、市内で最大級の前方後円墳「天皇の杜古墳」や、白鳳時代に創建されたという古代寺院跡「桜原廃寺跡」など、古代の神秘的な文化財が残る地域でもあります。

「桜原まちあるきMAP」は、桜原を訪れる方々にその歴史や文化、自然に触れるきっかけを提供します。四季折々の原風景が残り、地元の暮らしや文化が垣間見える桜原の街並みを巡ってみてください。



桜原廃寺跡では満開の桜が見られる。



新緑の中に佇む弁天様の祠。



色づく天皇の杜古墳の外周を散策。



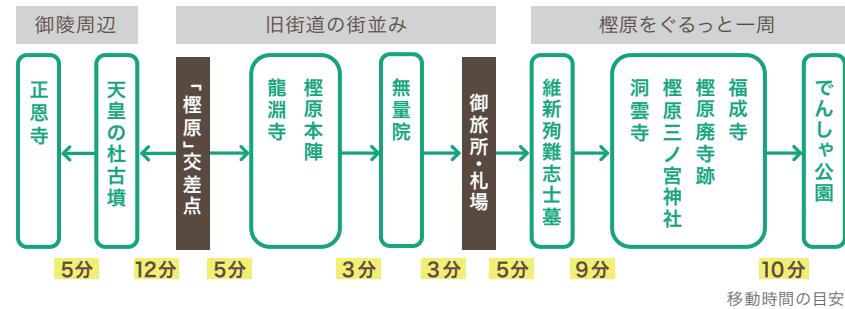
福成寺からの眺望。山桜の枝先には蕾が。

旧山陰街道沿いの街並みは東西に走る丹波街道（山陰街道）の宿場町として古くから栄え、今も伝統的な街並みや寺社が数多く残っているんだよ。一帯は京都市の条例で「西京桜原界隈景観整備地区」にも指定されているよん！

西京区マスコットキャラクター
にしきょう・たけにょん&のこたん

宿場町の歴史を感じる！桜原まちあるき

ルートイメージ



各スポットの周辺でも、いろいろなものを見つけられるよ！
詳細は中面のマップを見てよん♪

散策は歩きやすい格好で。ケガや事故がないように、周囲には十分注意してね。

桜原へのアクセス

【阪急桂駅から】バスで約6分・徒歩約15分

- 市バス33系統「洛西ターミナル」行き
- 京阪京都交通バス「亀岡」行き

「桜原」または「公会堂前」または「三ノ宮」下車

【JR桂川駅から】バスで約11分・徒歩約32分

- 市バス69系統「二条駅西口」行きなど

「桜原」下車



豊かな自然と街並みが調和する静かな郊外集落

桜原 まちあるき MAP

Walking map of Katagihara



江戸時代には宿場町として大いに栄え、その面影を今も残す「桜原」。里山の風情ある緑豊かな風景には古代の史跡もあり、神秘的な奥深さも垣間見えます。

発行 令和5年11月／京の暮らしの文化普及啓発実行委員会、西京区役所 地域力推進室
企画担当(TEL:075-381-7158) 京都市印刷物 第054655号

編集・制作 西京じかん編集部

本事業は、令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の助成を受けて実施する「京都の地域文化財総合活用推進事業」の一部です。



桜原まちあるきスポット紹介

1 桜原本陣



参勤交代の大名などの限られた人々だけの宿泊施設であった桜原本陣。京都市内で唯一残る本陣遺構として、平成4年に京都市有形文化財として指定され、現在に至るまで姿を変えることなく桜原の宿場町の歴史を伝えています。



◆元号が「寛政」の大名行列の帳面・文書。

2 龍淵寺



その歴史は戦国時代に遡り、1558~70年ごろ、浄土宗西山派の僧侶(洞空文翁上人)により建立され、1582年に明智光秀公によって寺院として認められました。境内には無病息災・安産に靈験あらたかな【辻のお地蔵さん】も。

4 桜原本陣跡



起源は不明とされますが、古くは柏原神社とも呼ばれ、源頼光の「酒呑童子(しゅくてんどうじ)退治」伝説が関係していると伝わる神社です。本殿は昭和49年に伊勢神宮により下賜されました。

6 福成寺



桜原本部からの美しい眺望をもつ高台に位置し、桓武天皇による長岡京遷都に伴い創建されたと伝えられています。本堂には十一面觀音像と大日如來の仏像が並び、洛西觀音靈場の第三十一番札所となっています。

3 無量院



江戸時代、参勤交代の大名行列で脇陣の役割をつとめた寺院です。薬医門をくぐると瓦製の西行法師像があり、その脇には「区民誇りの木」に認定された立派なイチョウ・クロガネモチの木が佇んでいます。

5 桜原本陣跡



白鳳時代に創建され、平安時代中期に廃絶したとされる古代寺院跡。八角形の瓦積基壇をもつ塔などの遺構が残っており、こうした形式の寺院跡はこの時代で他に例がない珍しいもので、昭和46年に国指定史跡となりました。

7 洞雲寺



江戸時代初期、寛永8年(1631)に一絲文守和尚(いっしづんしゆ)が結んだ庵で、「閑夢庵(かんむあん)とも呼ばれます。境内には弘法大師の作と伝えられる不動明王の石像があり、小さな庭園が美しい寺院です。



旧街道周辺 MAP

8 維新殉難志士墓



幕末、元治元年(1864年)7月の禁門の変で敗れてこの地に逃ってきた長州藩士ら3名が幕府側の軍勢により櫻原本札の辻で討たれました。村人によってこの丘の中腹に葬られ、3つの墓碑が並んでいます。【関連:勤王家殉難地の石標】

9 でんしゃ公園



役目を終えた旧京都市電の車体がそのまま保存されています。多くの車両が姿を消す中、車体は現在、地域の集会所として利用されています。また、地域のひろばとしても親しまれています。

10 天皇の杜古墳



4世紀ごろに築造された、市内最大級の前方後円墳。周辺地域を支配していた豪族の墓と推定され、かつては「文徳天皇の御陵」として語り継がれていました。大正11年に国指定史跡となり、今では緑あふれる史跡公園となっています。

11 正恩寺



西本願寺を本山とし、1646年(正保3年)の創建で、一見すると西洋の建造物を彷彿させる形状の本堂が特徴的です。戦中まで西本願寺の東北角にありましたが、昭和43年に現在の場所に移転・再建されました。

W S N E

探しみよう!

小泉家の油壺

幕末の頃、長州藩御用達の油商を営んでいた小泉家で使われていたもの。旧山陰街道沿いに2箇所設置されています。

小畠川(別名:明智川)
明智光秀が織田信長の命を受け、丹波平定の際に灌漑用水路として築造したもの。

郷倉
年貢米などが収蔵されていました。